

6. 成績の評価

(1) 5段階の成績評価と評価基準

本学では授業の成績評価に5段階の成績評価グレード（秀，優，良，可，不可）を用いています。授業における成績評価は，履修目標，到達目標に準じて行われ，履修目標，到達目標と成績グレードの関係は「成績評価の基準表」で表しています。なお，「可」以上を修得すると所定の単位を与えます。ただし，5段階の成績グレードで表し難い授業科目については「合格・不合格」で表し，「合格」を修得すると単位が与えられます。

成績評価の基準表

成績グレード	秀	優	良	可	不可
評価点	100-90	89-80	79-70	69-60	59-0
基準	履修目標を越えたレベルを達成している	履修目標を達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

履修目標：授業で扱う内容（授業のねらい）を示す目標です。より高度な内容は自主的な学修で身につけることを必要としています。（超えると成績評価「秀」となる目標）

到達目標：授業を履修する学生が最低限身につける内容を示す目標です。履修目標を達成するには，さらなる学修を必要としている段階です。（達成すると成績評価「可」となる目標）

※評価点はシラバスに記載する成績評価の基準によって担当教員が算出している点数であり，必ずしも定期試験等の点数と同じではありません。

(2) G P A

本学ではG P A（Grade Point Average）を導入しています。G P Aとは，皆さんが履修した科目の評価をG P（Grade Point）に置き換え，G Pに履修した単位数をかけその総和を履修登録の総単位数で割り算出するものです。

本学では，G P Aが2.0以上であることが卒業要件となっています。

	合格				不合格
成績グレード	秀 (S)	優 (A)	良 (B)	可 (C)	不可 (F)
G P	4.5	4	3	2	0

評価が「不可」の授業科目については，再履修を行うことができます。再履修を行った場合，成績（G P）は再履修後のものが採用され，履修科目単位数の総和（G P Aの分母）は増えません。なお，開講科目の中には，隔年開講のため翌年再履修できないものや，異なる内容の授業であっても同じ科目名であれば再履修可能なものなどがあります。これらについては履修登録に際して履修手引等の冊子の他，授業支援システム（L M S）等にも十分注意して確認してください。再履修を行った科目は履修時間割表に印がつきますので，必ず確認してください。履修時間割表は，学務情報システムにて確認することができます。

以下の科目はG P Aの対象外です。

- ・入学前既修得単位として認定された科目
- ・他大学開講科目で単位認定された科目
- ・交換留学（派遣）による認定科目
- ・「合格」「不合格」で評価される科目

（３）成績評価の通知及び確認

成績評価の結果は、春学期開講科目については１０月初旬に、秋学期・通年開講科目については、翌年度の始めに成績証明書または学務情報システムにて確認することができます。

教育学部で開講している授業科目の成績評価に関して、以下①～③に該当する場合は、成績についての異議申し立てをすることができます。

- ① 成績評価の誤記入等、明らかに担当教員の誤りがあると思われる場合
- ② シラバス等により周知している成績評価の方法に照らし、明らかに成績評価に疑義があると思われる場合
- ③ その他（具体的な理由がある場合）

希望する学生は、成績確認期間内に、学務情報システムより「成績評価についての異議申立書」をダウンロードし、必要書類と共に学務係へ提出してください。申立の内容については、担当教員が回答（内容によっては教育学部内組織で調査）し、学部長及び教務部会長が確認のうえ、結果を本人に通知します。なお、学生は相当の理由を付すことにより再度の異議申し立てをすることができます。

【注意事項】

成績確認期間を過ぎた申し出は、一切受け付けません。

教育学研究科開講科目、他学部開講科目については、開講部局の定めに従うこと。